資料2-4

高度専門人材

(自律的なキャリ アの構築)

(リスキリング、リカレ ント、・・) 産業イノベーショ ン人材

> (新しい企業・産 業の創出)

(イノベーター 、アントレプレナー、ス タートアップ・・)

既存人材

新しい人材

地域定着人材

(地域に生活基盤を築き、長期にわたって活躍)

(キャリア教育・・)

社会政策

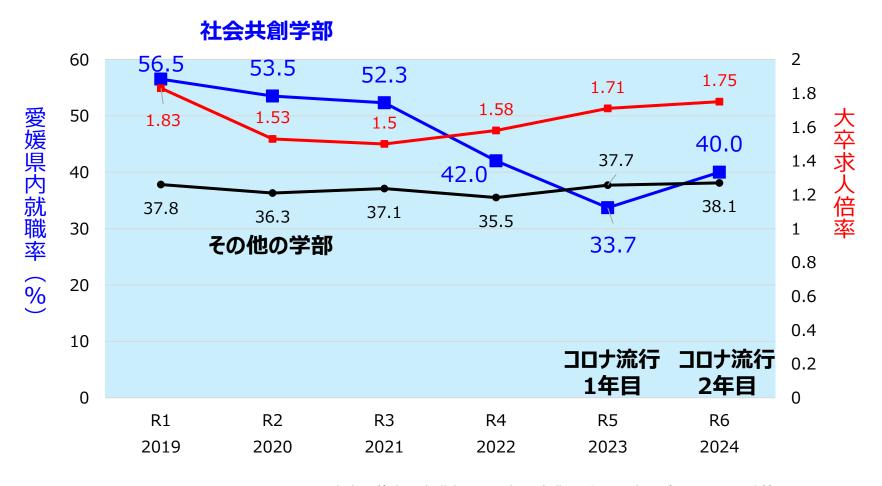
産業政策

ソーシャルイノ ベーション人材

(新たな社会サービスの担い手の創出)

(コミュニティビジネス、 女性・アクティブシニア の社会参画・・)

愛媛県内就職率



大卒求人倍率:求職者1人に対して企業から何人の求人があるかを示す数値。 値が大きいほど求職者に対して求人の数が多いため就職しやすく、小さいと逆に就職しづらくなる。



愛媛大学社会共創学部プロジェクト演習等

・地域・ステークホルダーと連携した実践的教育・研究 (70団体以上と協働した約50プロジェクト/年)



野村高等学校と協働した新しい女子寮のルール作りと街の活性化



学部創立10周年記念行事(360名の高校生、地域ステークホルダー、在校生による「えひめのみらい」を考えるWS)

愛媛大学地域協働型センター(東予・中予・南予)

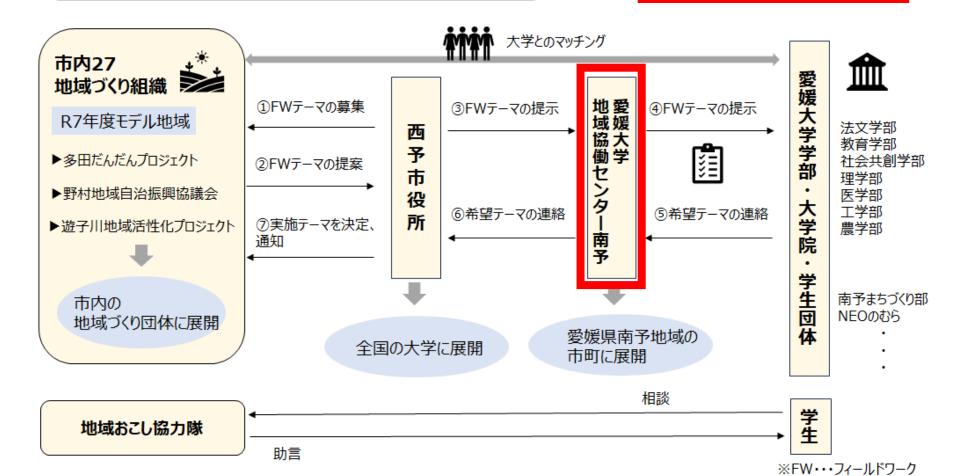
西予市・地域づくり団体

3 地域をモデル地区として、市内27地域づくり団体に活動の経過・成果を共有。 ミライカレッジで構築した仕組みを継続し、他地域へも大学生とのつながりを広げていく。 また、全国の大学に対し、大学生のフィールドワークの候補地となることを目指す。



愛媛大学地域協働センター南予

西予市をモデル地域として南予地域の 市町にこの仕組みを展開していく。



活動組織の創出



西日本豪雨災害を契機に 野村自治振、愛媛大学、 大阪大学でできた一社、 2021年設立、土産物開発、 市民講座など







学生による西予市内の地域 活動組織、2021年設立 ミカン収穫、農道修繕など





高度専門 人材 産業 産業イノ ベーション 人材 新ルル人材

地域定律

人材

愛媛大学紙産業ノベーションセンター現場密着型実践教育プログラム

新い八材 ソーシャル イノベー ション人材



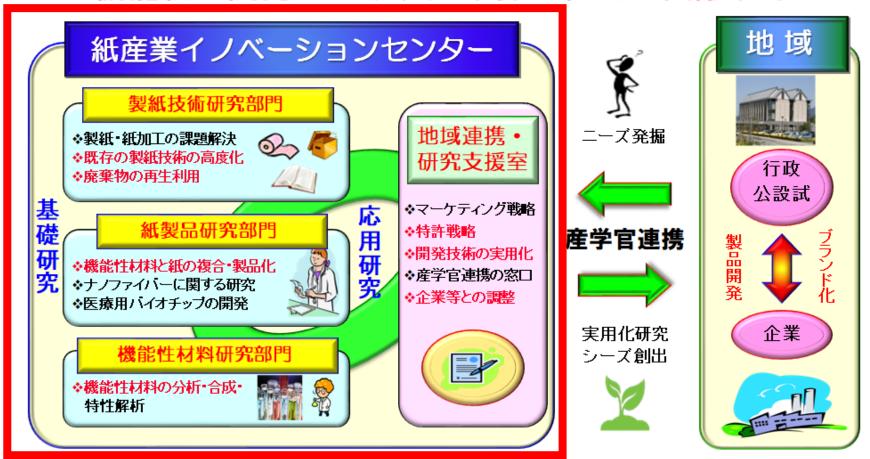


実習では、大学内での製紙・紙加工実習に加えて、<mark>愛媛県紙産業技術センター</mark>のご協力のもと、パイロットスケールの抄紙マシンを用いた製品製造実習を行っています。

特定の紙製品を対象とし、原料の準備から加工までの一連の流れを体験することで、 製紙・紙加工に対する理解を深めています。

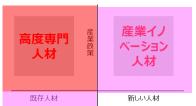


紙産業界のニーズへの対応と新たな技術や 機能紙の開発により、産業界や社会に貢献する



愛媛大学地域産業特化型研究センター

<u>技術の権利化…44件</u> (内、企業との共同特許35件)



愛媛大学南予水産研究センター レジデント型教育・研究プログラム

地域定着 社会 ソーシャル 人材 第 ション人材

高校生の実習受け入れ

宇和島東高等学校生物部1泊2日、宇和島水 産高校増殖学科実習、長浜高校水族館部座談 会、南宇和高校水産課題研究班実習など





愛媛大学地域産業特化型研究センター



- ・レジデント型研究・教育の強み
 - ステークホルダーとの信頼を形成しやすい
 - 知識の協働生産が得られやすい
 - 地域の needs を捉えやすい

南水研卒業生 総勢133名 愛南町に就職 20名(15%)

地域との有機的な連携

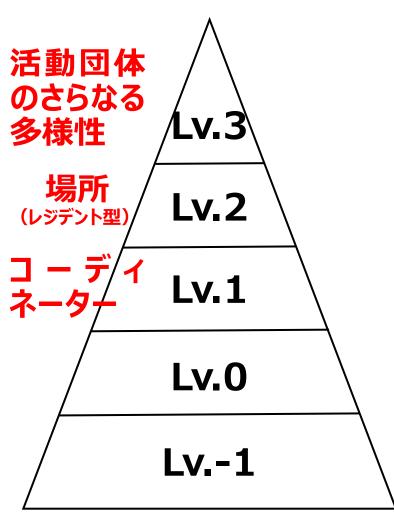
研究・教育:スマ育種-完全養殖技術開発

南予水産研究センター(親魚養成・選抜)

愛媛県水産研究センター (種苗生産)



プラットフォームは会議体ではなく実践協働体



多様な主体が活動プロセスを共有しながら、協働して多目的な活動している (自己組織化)。

多様な主体が協働して多目的な活動している。

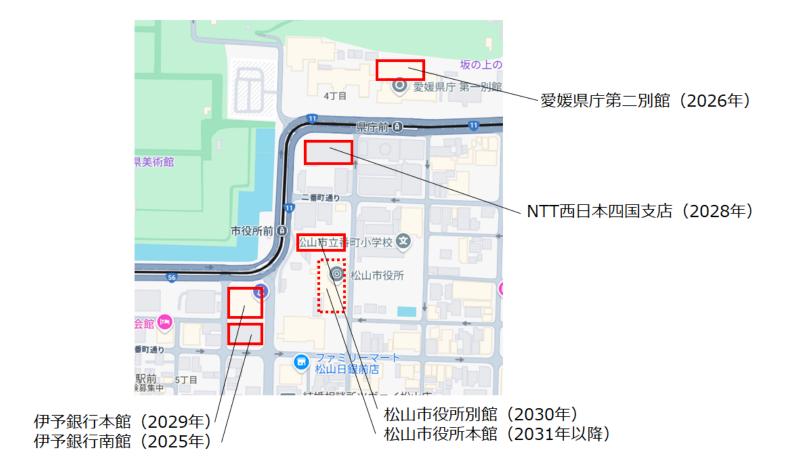
各主体が協働して活動している。

各主体が(単独の)活動結果を報告 会等で共有している。

民間企業、行政・地域、大学等が**単独** で活動している。

愛媛の地域活性化人材育成のコアエンジンに向けて

- 市街地コアでの協働空間の整備
 - 産(NTT) 官(愛媛県、松山市)、金(伊予銀行)、民(松山市)、学(愛媛大学)
- 各組織の特色に応じた地域活性化人材の育成の役割分担が必要



まとめ

- プラットフォームは会議体ではなく、実践協働体!
- ・教育効果が高く(教育の質保証から**質向上**へ)、 地域定着人材を育てるためには、地域と協働した実 践教育プログラムが有用
- 地域活性化に資する実践型研究にとってもプラット フォームは有用。
- 効果的な実践教育・研究プログラムにはレジデント型 のコーディネーター・チームが有用(場所・地域と結びついたコーディネーター群)
- 活力ある持続的なプラットフォームには、各自のコーディネーター化が必須。それにはさらなる活動団体の 多様化が必要?